

校開校!

4月1日、市では23年ぶりの新設校で、8校目の小学校となる「ひたち野うしく小学校」が開校しました。

ひたち野うしく小学校は、牛久北部土地区画整理事業地内の児童急増に対応するため、中根小学校の分離新設校として計画されました。新築計画にあたり、教職員、PTA、そして市職員などによる建築検討委員会を立ち上げ、これからの教育の方向・方針、児童の生活の場としての学校の在り方、地域に対する学校の在り方など、広く多くの意見を吟味し計画し建設されました。

ここでは、ひたち野うしく小学校の概要についてお知らせします。

施設概要

所在地	牛久市ひたち野西2-11
敷地面積	28,000.38㎡
延床面積	校舎：6,841.91㎡ 体育館：1,489.35㎡ 給食室：389.44㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造り地上3階建て
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室を「調べ学習」の拠点となるよう、2クラスが同時に利用できる学校の中心に設置。 ・正門・運動場を監視できる職員室・校長室を1階に設け、防犯カメラ、非常通報装置設備を装備し、児童の安全対策に配慮。 ・200人規模のコンサートができる広さと機能を備える音楽室、図工室、家庭科室を普通教室から分離配置し、土・日曜日などの休校日に地域住民の生涯学習の場として活用。 ・環境負荷の少ない氷蓄熱エアコンを採用し、複層ガラス・熱交換換気設備を牛久市の学校としては初めて全教室に設置。

ひたち野うしく小学校開校を祝して

ひたち野うしく小学校の建設にあたっては、従来の学校とは異なり、子どもたちが安全に安心して学ぶことができ、そして地域の方々も活用できる「世代交流・地域交流のできる地域開放型の小学校」をコンセプトに進めてまいりました。

校舎は、茨城県産材を豊富に使い、教室内は木のぬくもりに包まれています。音楽室は、200人規模のコンサートができる広さと機能を備えており、学校の授業で使えない土・日曜日などの休校日には、地域住民の生涯学習の場としてご利用いただくことができます。体育館は、倉庫など豊富な収納スペースに加え、会

議室もあり、大人も十分に利用できる広いものとなっております。またプールは、今年度に整備する予定となっておりますが、夏季だけでなく年間を通して利用できる全天候型の温水プールです。

学校は子どもたちの学びの場でありますが、多くの市民の方々にも学校を利用していただき、学校と地域が一体となつて、子どもを守り、育て、ひたち野うしく小学校の子どもたちが、健やかに成長し、この21世紀に大きく羽ばたくことを願っております。

本校の開校にあたり、地域住民の皆様にご多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

牛久市長 池辺勝幸

ひたち野うしく小学校校歌

作詩・中島清治
作曲・新井利昌

一、太陽の 光を浴びて

きらきらと 輝く大地

ひたち野 ひたち野

ひたち野うしく

筑波嶺に らしさを学び

微笑みを 絶やさず進む

二、人の道 真っ直ぐ歩く

健やかな 心と体

ひたち野 ひたち野

ひたち野うしく

助け合い 励まし合つて

今日も又 明るく生きる

三、優しさは 世界をつなぐ

厳しさは 未来をひらく

ひたち野 ひたち野

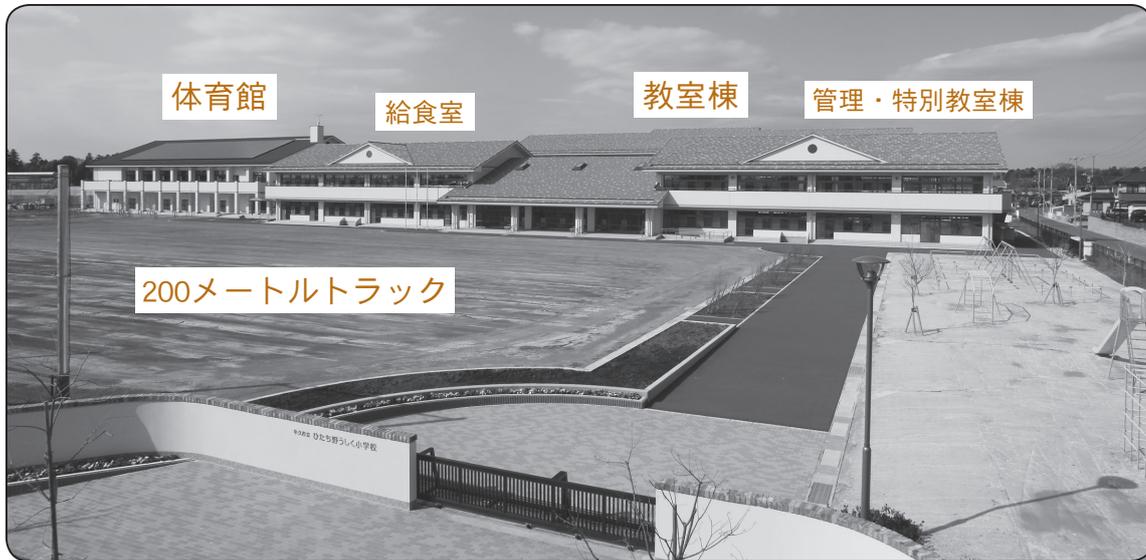
ひたち野うしく

青空に でっかく描こう

虹色の 希望と夢を

※ひたち野うしく小学校の開校を記念して、ひたち野うしく小学校、岡田小学校、下根中学校の校歌を作詩した牛久市出身の作家を紹介いたします。(6ページ〜9ページ参照)

ひたち野うしく小学



- 【ひたち野うしく小学校】
- ・住宅地に溶け込む切り書屋根の校舎デザイン
 - ・体育館の屋根に環境にやさしい太陽光発電を設置
 - ・全天候型の温水プールを建設予定(平成22年度)

【県産材をふんだんに使った内装】
スギやクリのムク材を活用、長く使うほどに愛着が深まる内装デザイン



市内8番目の 開放型の小学校

未来を担う子どもたちが安全に安心して学び、そして、地域の方々が活発に活動できる場として、従来の小学校の枠を超えた、世代交流・地域交流のできる地域開放型の新しい小学校が、飛躍するひたち野地区に完成しました！



【学年ワークスペース】
グループ、クラス、学年単位での授業が可能に



【小コンサートが行える音楽室】
学年単位での授業、地域住民の音楽発表会が可能に

